

半原地区5行政区 初共催（川北、宮本、両向、原臼、細野） 環境問題の講演会訪問

令和4年9月10日（土）

半原地区の5行政区が初めて共同開催した事業、環境問題の講演会【身近なプラスチックは何が問題なのか？】が愛川町立半原小学校体育館で行われたので訪問しました。

「神奈川工科大学 応用バイオ科学科・和田理征^{りせい}准教授」を講師に招いて、小学生から大人まで約80人が参加。約2時間にわたり「マイクロプラスチックの他に、まだ問題があるの？」など環境問題についての講演が行われ、プラスチックの世界の生産動向、環境汚染・生態系への影響、リサイクルの状況、進行中の研究内容の紹介、今後の研究課題などについての説明をしていただきました。

分解されないプラスチックは衝撃や紫外線などによって私たちが意図せずにマイクロ化し（極小のナノレベル～5mm以下）、細胞の中まで入り込んだり、いまだ海中に存在する毒性の高い化学物質「PCB」などが吸着・濃縮するなど、環境に大きな影響を及ぼす場合もあるそうです。私たち消費者は、環境に配慮し『えらんで、減らして、リサイクル』と、プラスチックとは上手につき合うようにとのお話がありました。

会の開催にあたっては、半原5行政区長が協議。「海洋汚染を少しでも減らすため、中津川上流に住むものとして、プラごみ問題を取り上げては？」ということになり、この問題を講演して下さる方をホームページなどで探していたところ、神奈川工科大学（和田理征准教授（奄美大島出身））が快くボランティアで引き受けてくださったそうです。



「環境問題の講演会」半原地区5行政区“共催”；行政区の紹介

- ・川北区：川北区長・大貫 佳孝（246世帯）・主な活動場所：川北児童館・他
- ・宮本区：宮本区長・井上 貴夫（333世帯）・主な活動場所：宮本児童館・他
- ・両向区：両向区長・小松崎 恒昭（386世帯）・主な活動場所：両向児童館・公民館・他
- ・原臼区：原臼区長・梶原 安弘（330世帯）・主な活動場所：原臼児童館・他
- ・細野区：細野区長・市川 守（790世帯）・主な活動場所：細野児童館・他

※ 世帯数等は各行政区から、あいかわ町民活動サポートセンターに団体登録していただいた数値です。

連絡先：細野区長・市川 守 携帯番号：080-6621-9090